

< 主観点 ISO の認証取得 >

景気は緩やかに回復しているとはいえ、公共投資の落ち込みや民間建設需要の状況、入札における企業間競争の激化等を考えれば、先行きが心配でなりません。そんな中で、「経審」で安定的に点数を取っていくのは容易ではありません。そこで WiseFaxnet2000.8月号では、「変わらざるもの変わるもの」と題して、「経審」の指標の中で変化しづらい項目で点数をとるように勧めました。ここでは経営事項審査の審査基準(客観的事項の審査基準)についてだけふれてありますが、主観的事項の中にも変化しづらい項目があります。経営者にしてみれば、どんな項目であれ少しでも点数を増やして安心感を得たいものなのです。

ここで点数をとることが
おすすめ

変化するもの	変化しづらいもの
X1 工事種類別年間平均完成工事高	X2 自己資本額・職員数
Y 売上高	Y 固定資産
Y 営業利益	Y 固定負債
Y 経常利益	Y 総資本(やや変動あり)
Y 売上債権(完成工事未収入金等)	Y 自己資本
Y 未成工事支出金	Z 工事種類別技術職員数
Y 仕入債務(工事未払金等)	W その他の審査項目
Y 未成工事受入金	
Y 短期借入金	

+
ISO の認証取得

一方、工事発注者は、基本的には、経営事項審査の審査基準(客観的事項の審査基準)を基に各建設会社を格付けしていますが、客観的事項だけではどうしても適格業者を選定できないと感じているようです。そこで、都道府県を例に取って見てみますと、ほとんどの都道府県が独自に主観的事項を定めて加点したり減点したりして

います。

その中で最近注目されるのが、ISOの認証取得を加点項目に加えている都道府県が増えていることです。インターネット等で確認できた都道府県数は 47 都道府県中 36 都道府県でした。そして、その中で主観的事項の対象となっているISOの規格は、品質管理システムに関する規格であるISO9000シリーズと環境マネジメントシステムに関する規格であるISO14000シリーズです。発注者は、品質と環境問題に大きな関心があることが分かります。現在、主観点の対象にしていない県もあるようですが、この流れは今後も変わらず、主観点の対象に加える県も増えていくのではないかと予想されます。

品質向上や環境問題に積極的に取り組んでいる企業は、発注者からも評価を受け、「経審」の点数も安定的に上がるのですから、みなさんもぜひ認証取得に取り組んでみてはいかがでしょうか。

WISENET編集部
松村 清 (税理士)



年末年始休業中の
サポート・発送について

年末年始における弊社の営業予定は下記の通りとなります。ご了承下さいますよう、宜しくお願いいたします。

- ◇ 12月27日まで 通常営業いたします
- ◇ 12月28日～1月4日 お休みとさせていただきます
- ◇ 1月5日から 通常営業いたします

**ワイズが独自に調査しました！「全国都道府県別 ISO 取得による主観点数加点状況」
2004年1月5日まで、先着100名様に無料進呈！！12月更新の最新情報です！**

ISOコンサルティングについてデモ希望(無償)
ISOコンサルティング資料請求(無償)
ISOコンサルティング見積希望(無償)
送信先宛名変更(右欄に変更後の宛名をご記入ください)
今後「Wise FAXNET」送信不要
今後「Wise FAXNET」メール送信に変更希望

デモ希望、資料請求、送信先宛名変更、送信停止は、必要事項をご記入の上、FAXにて当社までご返送下さい。

FAX.0269-65-4745

資料・デモをご希望の方は、下記にご連絡先をご記入下さい。ユーザー様で前回登録時と変更のない場合には、貴社名と担当者名、TELのみをご記入下さい。

貴社名

ご担当者様

ご役職・部署名

TEL

FAX

今後メールでの送信をご希望される場合は下記にアドレスをご記入ください。

e-mail

「WISE FAXNET」は経審対策/書類作成システム「Wisdom(ウィズダム)」ユーザー様に経審に関する最新情報、経審対策のワンポイントを紹介、月一回の発行となります。内容に関するお問い合わせ、バックナンバーの請求(99年2月号～)は弊社までご連絡下さい。弊社ホームページよりバックナンバーのダウンロードできます(12月号は12月27日より可能)。ログインIDは「1921」です。入力後、[ログイン]ボタンをクリックして下さい。ワイズホームページ <http://www.wise.co.jp>